

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です
プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	CDDP+VP-16+concTRT
診療科名	呼吸器内科
診療科責任者名	金子 教宏
適応がん種	SCLC
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	SCLC-4
登録日・更新日	2008年7月16日
削除日	
出典	N Engl J Med 1999;340:265-71
入力者	安室 修

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名	規格	投与量算出式	ルート	投与時間	施行日
No.1	シスプラチン	10mg,50mg	80mg/m ²	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> IVHポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	2時間	Day1
	生理食塩液	500mL				
No.2	ラステット	100mg	100mg/m ²	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> IVHポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	2時間	Day1-3
	生理食塩液	500mL				

1コースの期間	28日
投与間隔の短縮規定	<input type="checkbox"/> 短縮可能(日) ・ <input checked="" type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

記入者	安室 修
確認者	三沢 昌史

減量・中止基準	シスプラチン BUN \geq 25mg/dL クレアチニン \geq 1.5mg/dLのとき投与不可
前投薬	グラニセトロン3mg デキサメタゾン
その他の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・LD症例(1st line) PS 0~2 ・少量の胸水を認め、胸水の細胞診にて悪性細胞を認めない場合にはLD症例として治療を行う ・good PR or CRの場合にはPCI(予防的全脳照射)を行う ・70歳未満 かつ 水分負荷が可能な場合 ・2コース実施し効果があれば最低2コース(1コース21~28日)実施 ・シスプラチン投与前後にそれぞれ1,000~2,000mLの適当な輸液を4時間以上かけて投与する